

環境教育掲示用教材 解説書

東京都教育委員会では「東京都教育ビジョン（第3次・一部改定）」の中で、体験的な活動等を取り入れた環境学習を通じて、子供たちが自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことが重要であると示しています。

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、3Rをはじめとする環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本解説書では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介합니다。

環境教育掲示用教材の特徴

特徴 1

地球環境保全に関する課題を各回のテーマに設定し、児童・生徒が地球環境保全に高い関心をもち、環境に配慮した行動を促す内容を掲載します。

特徴 2

発達段階に応じた内容となるよう、小学校低学年版、小学校中学年版、小学校高学年版、中学校・高等学校版の4種類を作成します。

特徴 3

都内公立学校の全ての学級に年4回配布し、教室等に掲示することを通して、環境教育への取組を支援します。

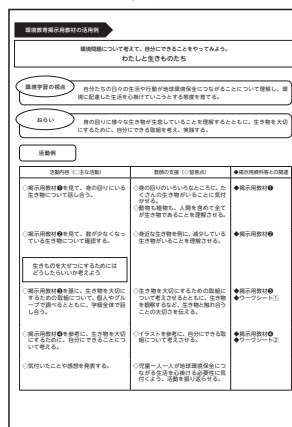
特徴 4

学校の授業等で活用できるよう、短時間の活用例等を紹介した解説書と児童・生徒用のワークシートを添付します。

環境教育掲示用教材



解説書



ワークシート



環境問題について考えて、自分にできることをやってみよう。
わたしと生きものたち

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

身の回りに様々な生き物が生息していることを理解するとともに、生き物を大切にするために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動例

| 活動内容（○主な活動） | 教師の支援（◇留意点） | ◆掲示用資料等との関連 |
|---|--|---------------------|
| ○掲示用教材①を見て、身の回りにいる生き物について話し合う。 | ◇身の回りのいろいろなところに、たくさんの生き物があることに気付かせる。 ◇動物も植物も、人間を含めて全てが生き物であることを理解させる。 | ◆掲示用教材① |
| ○掲示用教材②を見て、数が少なくなっている生き物について確認する。 | ◇身近な生き物を例に、減少している生き物があることを理解させる。 | ◆掲示用教材② |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 生きものを大せつにするためにはどうしたらいいか考えよう </div> | | |
| ○掲示用教材③を基に、生き物を大切にするための取組について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。 | ◇生き物を大切にするための取組について考えさせるとともに、生き物を観察するなど、生き物と触れ合うことの大切さを伝える。 | ◆掲示用教材③ ◆ワークシート① |
| ○掲示用教材④を参考に、生き物を大切にするために、自分にできることについて考える。 | ◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 | ◆掲示用教材④ ◆ワークシート② |
| ○気付いたことや感想を発表する。 | ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。 | |



① 地球上にいる生き物の数

(出典：環境白書 平成 29 年)

昆虫、鳥、魚、いろいろな植物など地球上には約 3,000 万種類の生き物がいるといわれています。人間も含めた全ての生き物が関わり合って生きていますが、今、世界では多くの生き物が絶滅の危機にさらされています。

日本でも、ライチョウ・ニホンウナギ・ジュゴン・ツシマヤマネコ・ヤンバルクイナなど、多くの生き物が絶滅の危機にあります。

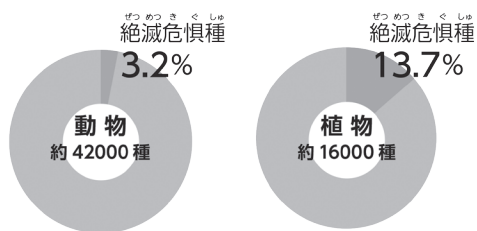
② 絶滅の危機にさらされている日本の野生動植物

(出典：環境省「絶滅危惧種レッドリスト 2017」)

日本に生息する絶滅のおそれのある野生動植物をレッドリストとして環境省がまとめています。

日本に生息する野生動植物について、2015 年と比べ 2017 年には絶滅危惧種が 38 種増加し、海洋生物については 56 種が絶滅危惧種として掲載されています。

海洋生物を合わせたレッドリストでは、日本の絶滅危惧種は合計で 3,690 種になっています。



絶滅の危機にさらされている日本の野生動植物の割合

◆ 東京都では、保護上重要な野生生物種の解説書「東京レッドデータブック」を公表し、絶滅の危険性が高い動植物の生態や現状等について解説しています。

東京レッドデータブック

<http://tokyo-rdb.jp/index.php>

◆ サンゴ礁の白化現象

海の中で最も多くの生物が集まり、生物多様性に富む生態系であるサンゴ礁が深刻な危機に直面しています。

日本においては、沖縄にある国内最大のサンゴ礁「石西礁湖(せきせいしょうこ)」で、90%以上のサンゴが白化し、その内 70%が死滅しています。(2017 年環境省調べ)

この問題には地球温暖化などの環境の変化が大きく関わっていると考えられています。

③ 生き物と共生していくために、私たちにできること

- ・自然をよごさないように、ごみはもってかえろう。
- ・動物が食べてしまわないように、ごみのポイすてはやめよう。
- ・チョウがやってくるように草花を植えよう。
- ・大きな公園や自然が残っている場所で生き物の観察を試みよう。
- ・イヌやネコなどのペットを飼うときは、最期まで責任をもって飼おう。

人間も含め、それぞれに違いのあるたくさんの種類の生き物全ては、互いに関わり合って生きています(生物多様性)。私たち人間も、そこから食べ物や豊かな自然などのいろいろなめぐみを得て暮らしています。

④ 自分にできることのヒント

- ・公園などの自然のある場所に出かけ、生き物や自然にふれよう。
- ・生き物を観察した後は、元の場所に返してあげよう。
- ・野菜や果物など自然から得られるものに感謝しよう。

東京都の主な環境学習施設

| 区市町村名 | 施設名称 | 所在地 | 問合せ先 |
|-------|---------------------------------|----------------------------------|--------------|
| 八王子市 | 八王子市環境学習室（エコひろば） | 八王子市北野町 596-3 あったかホール 1 階 | 042-656-3054 |
| | 八王子市地球温暖化防止活動推進センター「クールセンター八王子」 | 八王子市北野町 596-3 八王子市北野余熱利用センター 2 階 | 042-656-3103 |
| 立川市 | 国営昭和記念公園 | 立川市緑町 3173 | 042-528-1751 |
| 武蔵野市 | 井の頭自然文化園 | 武蔵野市御殿山 1-17-6 | 0422-46-1100 |
| 三鷹市 | 野川公園 | 三鷹市大沢二・三丁目 | 0422-31-6457 |
| 青梅市 | 青梅市リサイクルセンター | 青梅市新町 6-9-1 | 0428-31-0540 |
| 府中市 | 府中市環境保全活動センター | 府中市寿町 1-5 府中駅北第 2 庁舎 7 階 | 042-335-4410 |
| | 府中市リサイクルプラザ | 府中市四谷 6-58 | 042-365-0502 |
| 昭島市 | 環境コミュニケーションセンター | 昭島市美堀町 3-8-1 | 042-546-5300 |
| 調布市 | 調布市多摩川自然情報館 | 調布市染地 3-8-26 | 042-486-3174 |
| | 野草園 | 調布市深大寺南町 1-25 深大寺自然広場内 | 042-498-1464 |
| 町田市 | リサイクル広場まちだ | 町田市下小山田町 3267-20 | 042-797-0530 |
| 小金井市 | 小金井市環境学習館 | 小金井市貫井南町 3-2-16 | 042-381-5006 |
| 小平市 | こもれびの足湯 | 小平市中島町 3-5 | 042-341-4345 |
| | ふれあい下水道館 | 小平市上水本町 1-25-31 | 042-326-7411 |
| | リサイクルセンター | 小平市小川東町 5-19-10 | 042-346-9535 |
| | リプレこだいら | 小平市小川東町 5-19-10 | 042-343-7377 |
| 日野市 | 環境情報センター（かわせみ館） | 日野市日野本町 1-6-3 | 042-581-1164 |
| 東村山市 | 東村山中央公園 | 東村山市富士見町五丁目ほか | 042-392-7322 |
| 国分寺市 | 環境情報ライブラリー | 国分寺市本町 4-1-9 本町クリスタルビル 4 階 | 042-328-2192 |
| 国立市 | 北多摩二号水再生センター | 国立市泉 1-24-32 | 042-572-7711 |
| 福生市 | リサイクルセンター・リサイクルプラザ | 福生市熊川 1566-4 | 042-552-1621 |
| | 川の志民館 | 福生市南田園 3-64-2（多摩川中央公園隣） | 042-551-1718 |
| 狛江市 | 狛江市ビン・缶リサイクルセンター | 狛江市岩戸北 1-1-11 | 03-3488-5300 |
| 東大和市 | 東大和公園 | 東大和市湖畔三丁目ほか | 042-393-0154 |
| 清瀬市 | 清瀬水再生センター | 清瀬市下宿 3-1375 | 042-494-1451 |
| 東久留米市 | 六仙公園 | 東久留米市中央町三丁目 | 0422-31-6457 |
| 武蔵村山市 | 中藤公園 | 武蔵村山市中央四・五丁目 | 042-531-2325 |
| 多摩市 | 多摩市立グリーンライブセンター | 多摩市落合 2-35（多摩中央公園内） | 042-375-8716 |
| | エコプラザ多摩（資源化センター） | 多摩市諏訪 6-3-2 | 042-338-6836 |
| 稲城市 | 環境学習センター | 稲城市東長沼 3101-4 | 042-378-2111 |
| 羽村市 | 羽村市動物公園 | 羽村市羽 4122 | 042-555-2581 |
| あきる野市 | 小宮ふるさと自然体験学校 | あきる野市乙津 1984 | 042-596-0414 |
| 西東京市 | エコプラザ西東京 | 西東京市泉町 3-12-35 | 042-421-8585 |

■町村の環境学習施設については第 4 回で御紹介します。

編集・発行：東京都教育庁指導部義務教育指導課